

平成23年2月

関門航路計画航行安全性検討調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、関門航路における開発保全航路計画にあたり、航行船舶の安全性を検討してとりまとめた。

関門海峡に山積する航行上の問題点は、これまで海域利用者から折に触れ指摘され、漸次、航行環境は改善されてきた。しかし、未解決の課題は依然として残存している。

関門航路を整備する担当事務所は将来的な航路計画に備えて、平成21年度に当協会に委託して関門航路の現状における問題点を整理したうえで基礎検討を行った。

引き続き今回、委託を受けた当協会は、学識経験者、海域利用者、関係行政機関、及び委託者などで構成される委員会を設置し、基礎検討結果から選択された部埼沖、大瀬戸東側、台場鼻沖の3海域における航路計画案の有効性について、シミュレーションなどの手法を用い海域毎の特性を踏まえて慎重に検討審議した。

検討の結果、

- ①部埼沖については、課題はあるが航路法線変更の効果はある。
- ②大瀬戸東側については、航路拡幅の効果を期待できない。
- ③台場鼻沖については、戸畑航路入航大型船の関門航路右側航行と交通環境緩和に隔切りが有効であると評価した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 航行環境等把握と問題点の抽出等
- (3) 関門航路計画（部埼沖）検討結果
- (4) 関門航路計画（大瀬戸東側）検討結果
- (5) 関門航路計画（台場沖）検討結果